

市民の苦難をとりぞくために頑張ります

困っている人がいれば、お役に立ちたい

高校卒業後、東大阪市の化学会社に就職をしました。そして、みんなが安心して働けるようにと、労働組合運動に参加をするなかで日本共産党に入党しました。

困っている人がいれば少しでもお役に立ちたい、これが私の共産党員としての原点であり、日本共産党の立党の精神でもあります。

日本共産党の専従職員として27年

その後、1979年から2006年まで27年間、東大阪市、奈良県中南和地域(大和高田市、桜井市、橿原市)で、日本共産党の専従職員として、弱いものいじめの政治のもと、国民の暮らしを守るために奮闘してきました。

市民の願い実現のため粘り強く頑張ってきました

議会へ送っていただいて約8年間、議会ごとにみなさんの切実な要求を取り上げ、JR貯木場踏切の拡幅と通行の安全対策、子どもの医療費の助成制度の拡充、グリーンパークの高すぎるゴミ処理コストを引き下げするため、日立造船との委託契約の見直しを繰り返し求めてきました。



市と交渉をする吉田議員

安倍内閣の暴走ストップ 平和と暮らしを守る市政へ

今、働く人の所得が減り続けるなかでの消費税増税、原発の再稼働、「海外で戦争する国づくり」と安倍内閣の暴走は目に余ります。消費税10%増税などは、「もってのほか」です。みなさんと力を合わせて、増税をストップさせます。

国の悪政の防波堤として、市民が平和で安心して暮らしていける市政めざして、全力で頑張ります。

いのちと暮らしを守る市政に



プロフィール

○1952年(昭和27年)桜井市生まれ
○県立桜井商業高校卒○明和グラビヤ化学(株)勤務、労働運動に参加○桜井市議会議員2期
目・文教厚生副委員長、決算特別委員会副委員長○党奈良県委員会・中南和地区委員会各役員○党桜井市委員長
○桜井市社会保障推進協議会副会長○趣味：釣り・登山

吉田ただお

日本共産党

ごあいさつ

今、「年金が減ったうえに、消費税増税で生活していけない」「高い国保税が払えない」など、みなさんから数々の声を聞いてきました。市民の暮らしが大変な時こそ桜井市は、地方自治法の「住民の福祉の増進をはかる」とあるように、国の悪政から市民を守る防波堤の役割を果たさなければなりません。

しかし、市はリーマンショックの翌年に、市民の暮らしに大きな影響が出るにもかかわらず国保税の大幅な引き上げをおこなない、毎年一億円以上の黒字を出しています。私は市民の負担を少しでも軽くするために、国保税の引き下げを求めて頑張ります。

三期目も働かせて下さい。大きなご支援を、心からお願ひします。

桜井民報

発行 日本共産党桜井市委員会

NO54号 2015年1月号

桜井市栗殿 1029-5 吉本ビル 201号

電話・ファクス 0744(46)4930

日本共産党桜井市委員会は桜井市議会議員選挙の政策を発表しました。